



2015年6月期 決算説明資料

August 28, 2015



M I C R O N &
E L E C T R O N

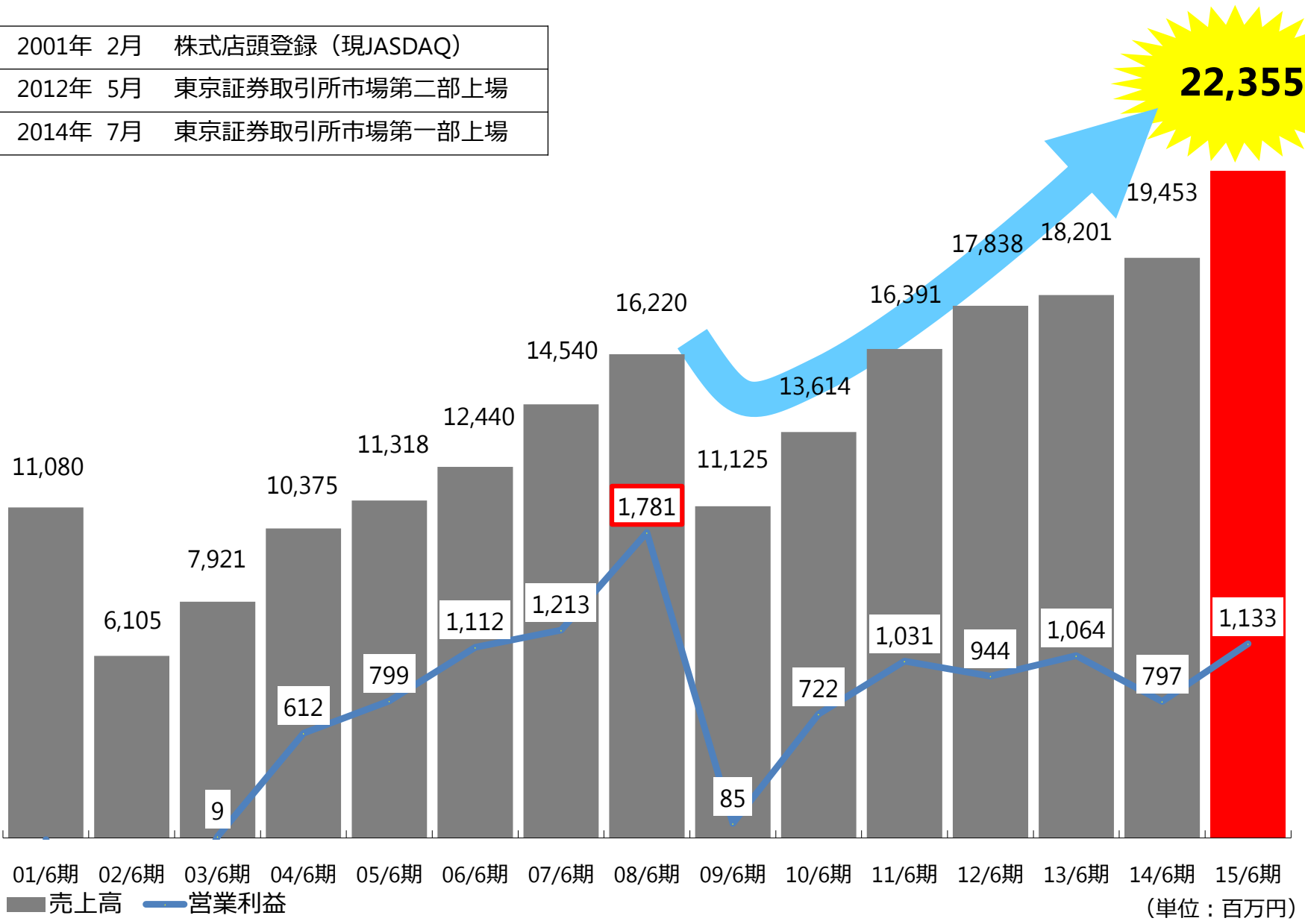
SUZUKI CO.,LTD. 株式会社 鈴木

東証一部 code:6785

2015年6月期 業績説明

成長の軌跡（売上200億円突破）

2001年 2月	株式店頭登録（現JASDAQ）
2012年 5月	東京証券取引所市場第二部上場
2014年 7月	東京証券取引所市場第一部上場



- 金型事業、部品事業、機械器具全てのセグメントにおいて堅調
電子部品コネクタは多機能端末向けが高需要を維持し好調
自動車電装向け部品も引き続き堅調
部品事業に関連して金型部門も同様の傾向となり堅調
各種自動機、医療器具も堅調に推移
- 結果、2015年6月期は過去最高の売上を記録し増収増益

百万円	2014/6期		2015/6期		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	19,453	100.0	22,355	100.0	2,902	+14.9
売上総利益	2,212	11.4	2,694	12.0	482	+21.8
営業利益	797	4.1	1,133	5.0	336	+42.1
経常利益	910	4.7	1,376	6.1	466	+51.2
当期純利益	243	1.2	584	2.6	341	+139.7

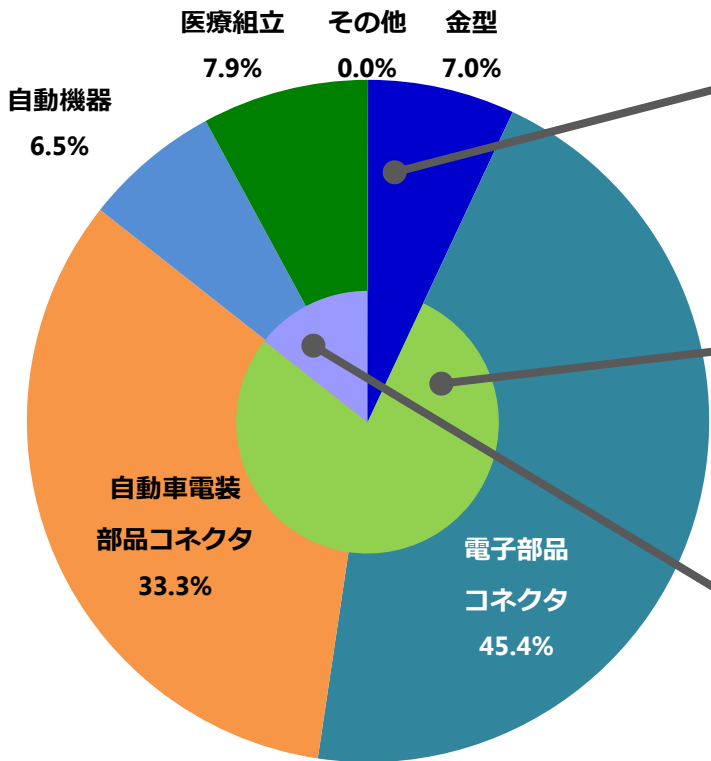
セグメント別売上高 計画と実績

百万円	2015/6期 (1月26日修正計画)		2015/6期 実績		計画比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,506	6.8	1,559	7.0	53	+3.5
■ 部品	17,423	79.0	17,581	78.6	158	+0.9
■ 電子部品コネクタ	9,883	44.8	10,144	45.4	261	+2.6
■ 自動車電装部品コネクタ	7,539	34.2	7,437	33.3	△102	△1.4
■ 機械器具	3,104	14.0	3,204	14.3	100	+3.2
■ その他	6	0.0	10	0.0	4	+66.7
合計	22,042	100.0	22,355	100.0	313	+1.4

セグメント別売上高 前期比較

百万円	2014/6期	実績	2015/6期		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,345	6.9	1,559	7.0	214	+15.9
■ 部品	15,441	79.4	17,581	78.6	2,140	+13.9
■ 電子部品コネクタ	8,358	43.0	10,144	45.4	1,786	+21.4
■ 自動車電装部品コネクタ	7,082	36.4	7,437	33.3	355	+5.0
■ 機械器具	2,659	13.7	3,204	14.3	545	+20.5
■ その他	7	0.0	10	0.0	3	+44.3
合計	19,453	100.0	22,355	100.0	2,902	+14.9

15/6期 セグメント別売上高構成



【金型】

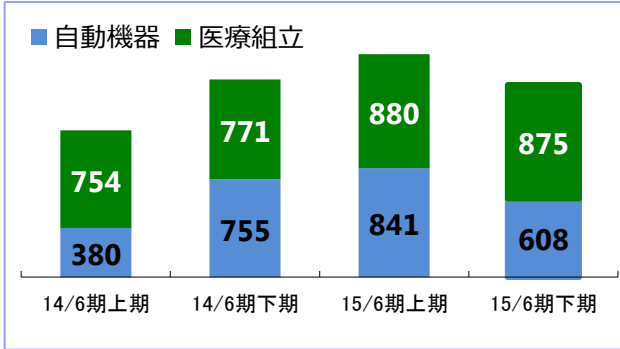
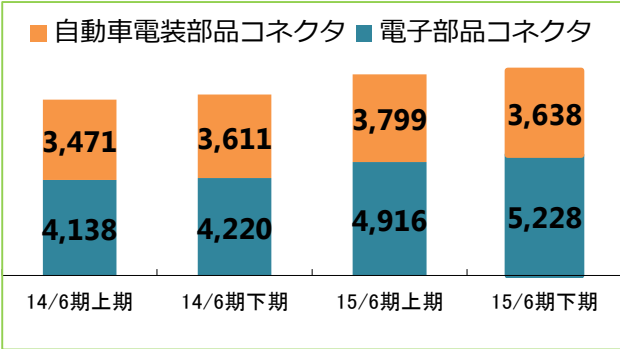
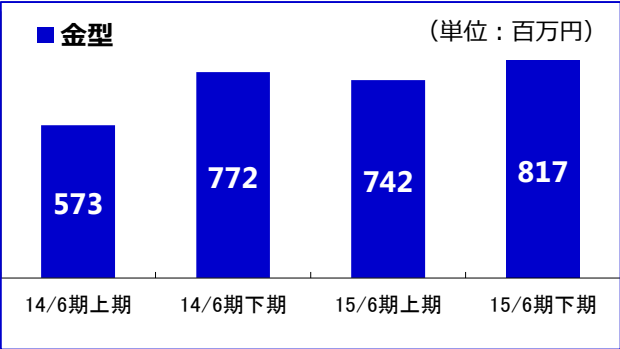
- 注力してきたインサート成形向け複合金型の割合が電子部品コネクタ向けを中心に拡大
- 社内型と外販型の比率は 51対49
- 結果、売上高は1,559百万円となり、前期比プラス15.9%の増収

【部品】

- 電子部品コネクタ：期初順調に滑り出した多機能端末向けが期を通じて好調を維持
- 自動車電装部品コネクタ：3月の北米港湾ストライキの影響があったものの堅調を維持
- 結果、売上高は17,581百万円となり、前期比プラス13.9%の増収

【機械器具】

- 自動機器：車載関連、医療関連、半導体関連ともに好調
- 医療組立：一部製品の需要減少等があったものの堅調
- 結果、売上高は3,204百万円となり、前期比プラス20.5%の増収



単位：百万円	14/6期 期末	15/6期 期末	増減額
流動資産	8,359	8,065	△ 294
現金及び預金	2,209	1,236	△ 973
受取手形及び売掛金	4,157	4,434	277
たな卸資産	1,649	1,954	305
固定資産	9,539	10,850	1,311
有形固定資産	7,788	8,841	1,053
無形固定資産	61	54	△ 7
投資その他の資産	1,689	1,955	266
資産合計	17,899	18,915	1,016
流動負債	4,141	4,526	385
支払手形及び買掛金	2,321	2,315	△ 6
短期借入金+ 一年内返済予定長期借入金	902	1,057	155
未払法人税等	273	331	58
固定負債	1,641	1,531	△ 110
長期借入金	381	279	△ 102
純資産	12,116	12,857	741
負債及び純資産合計	17,899	18,915	1,016

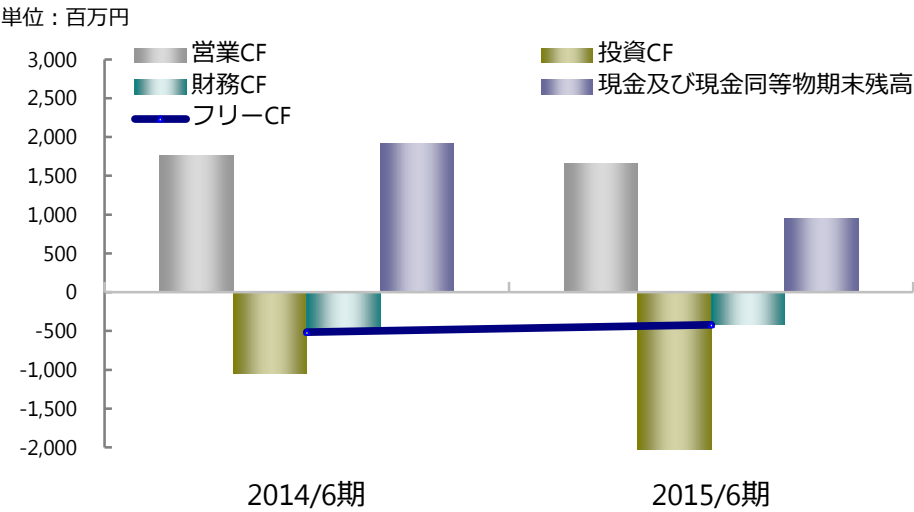
財務体質は
健全な水準を維持

	14/6期末	15/6期末
短期借入金	686	956
一年内返済予定 長期借入金	216	101

有利子負債	14/6期末	15/6期末
	1,284	1,337

	14/6期末	15/6期末
流 動 比 率	201.9%	178.2%
当 座 比 率	153.7%	125.3%
固 定 比 率	82.8%	88.6%
自己資本比率	64.3%	64.7%

連結キャッシュフロー計算書



【営業活動によるキャッシュフローの主な項目】

税 引 前 当 期 純 利 益	1,370百万円
減 価 償 却 費	1,166百万円
売上債権の増減（増加：△）	△249百万円
たな卸資産の増減（増加：△）	△251百万円
仕入債務の増減（減少：△）	△33百万円

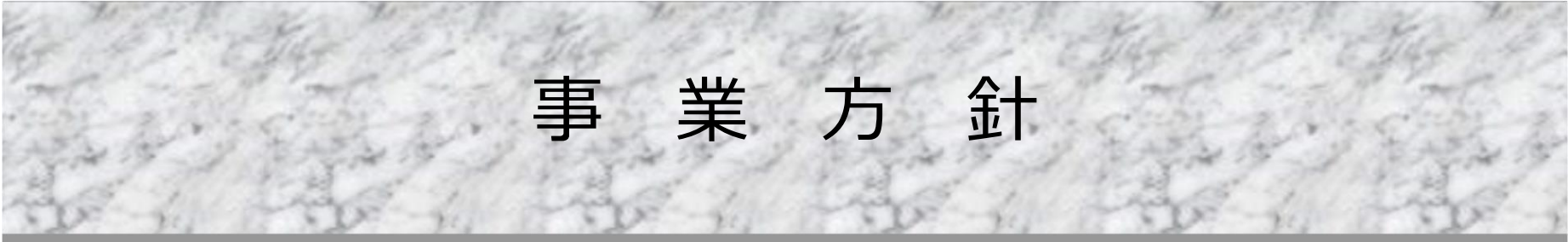
【投資活動によるキャッシュフローの主な項目】

有形固定資産の取得による支出	△2,105百万円
----------------	-----------

【財務活動によるキャッシュフローの主な項目】

短期借入金の純増加額	170百万円
長期借入金の返済	△216百万円
配当金の支払額	△167百万円
少数株主への配当金支払額	△205百万円

単位：百万円	2014/6期	2015/6期
営業活動によるキャッシュフロー	1,761	1,661
投資活動によるキャッシュフロー	△1,052	△2,141
フリーキャッシュフロー	709	△480
財務活動によるキャッシュフロー	△515	△419
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△73
現金及び現金同等物の増加額	200	△972
現金及び現金同等物の期末残高	1,921	948

A horizontal rectangular area with a marbled paper texture, featuring swirling patterns of light gray, beige, and brown. The text "事業方針" is centered within this area.

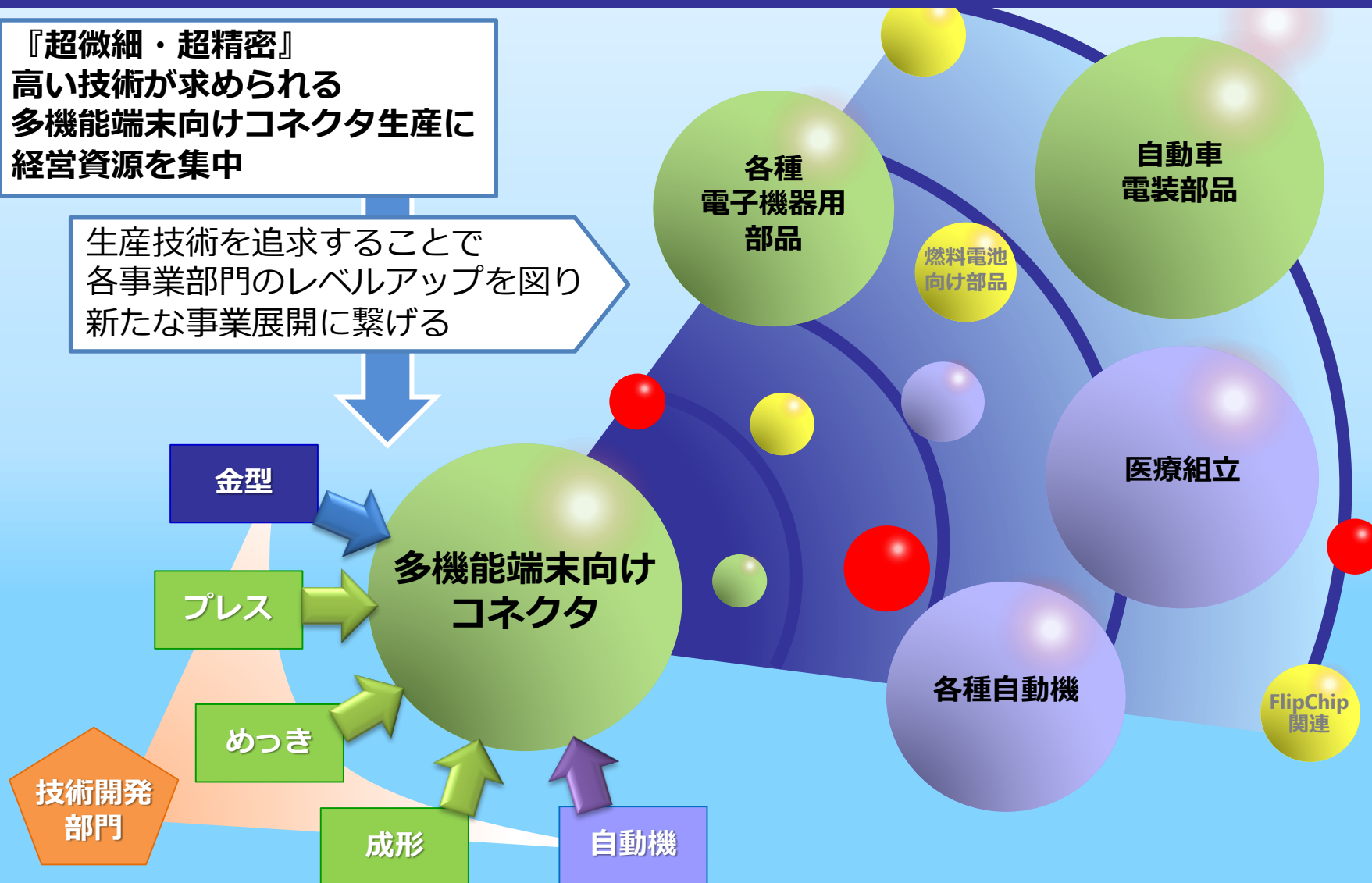
事業方針

モノ作りNo.1を目指して：2016年6月期事業方針

拡大が見込まれる多機能端末向けを軸に新規分野にも積極的に展開

『超微細・超精密』
高い技術が求められる
多機能端末向けコネクタ生産に
経営資源を集中

生産技術を追求することで
各事業部門のレベルアップを図り
新たな事業展開に繋げる



モノ作りNo.1を目指して：金型

一貫生産体制を支える 世界最高水準 インサート加工技術

【金型部門の再強化】 パーツの内製化率を高め精度とコストを追求

モールド金型パーツ：コアパーツは社内生産以外不可能な領域に突入

人員と設備の
増強

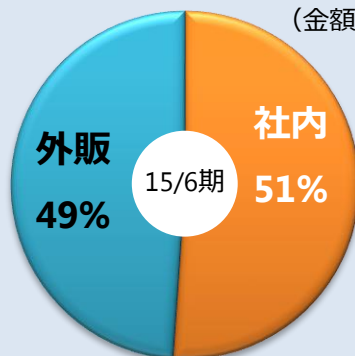
- 放電設備の増設（前期2台・今期1台）
- 大型MC、WEDM放電更新（今期中）

生産能力約2.5倍
パーツ外注比率半減以下設計精度の
強化

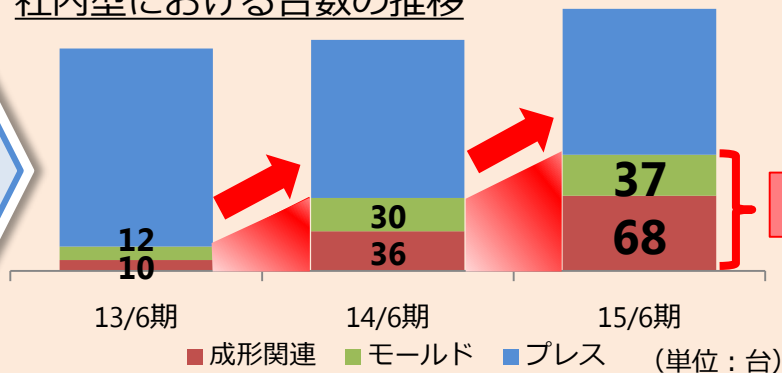
- 設計工程の見直し
- 3DCADの活用

金型製作期間
大幅短縮インサート加工
技術の高度化

- メンテナンス効率の向上
- 極小ピッチ、低背化に対応

部品部門の生産性
大きく向上モールド金型
高難度化社内型・外販型比率
(金額ベース)

社内型における台数の推移

一貫生産向け
金型の需要拡大

モノ作りNo.1を目指して：電子部品コネクタ

高難度への挑戦 品質・効率・機動力 世界NO.1へ

一貫生産体制の強化

プレス

生産効率の限界にチャレンジ

- SPM2000対応プレス機6台体制に
- 完全自動化（無人化）
- 生産ラインメンテナンス時間短縮への取り組み

めっき

ニッケルバリア加工の処理能力 30%拡大

- 積極的な設備投資により処理スピードがUP→業界最速水準11m/分
→10億ピン/月の体制確立
- 更にレーザー加工機増設により15億ピン/月に能力UP

成形

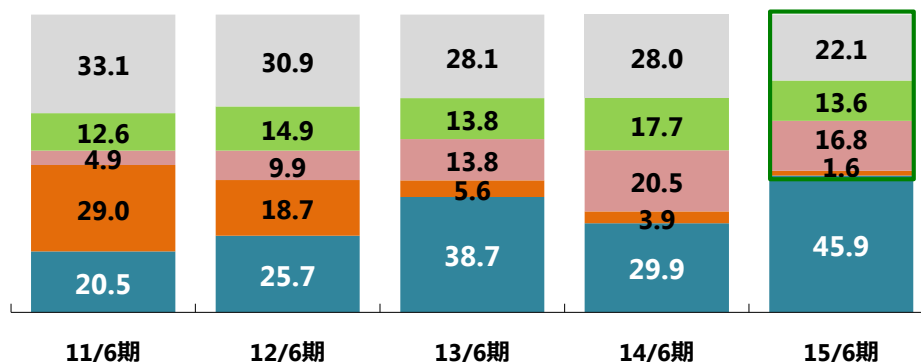
人、モノを積極的に導入し《大量生産+短納期》に対応

- 成形機追加導入：今期3台増設→37台体制に（工場増床完了）
- 革新的インサート技術の投入

あらゆる
顧客ニーズに
応える
生産技術

電子部品コネクタ = 用途別の売上比率（%）

■ 多機能端末 ■ 携帯電話 ■ 自動車 ■ FA機器 ■ その他



★小ロット生産体制の確立

- 車載、カーエレクトロニクス関連に対応

- 医療機械用コネクタを新規受注

- 住宅用燃料電池向け部品量産開始

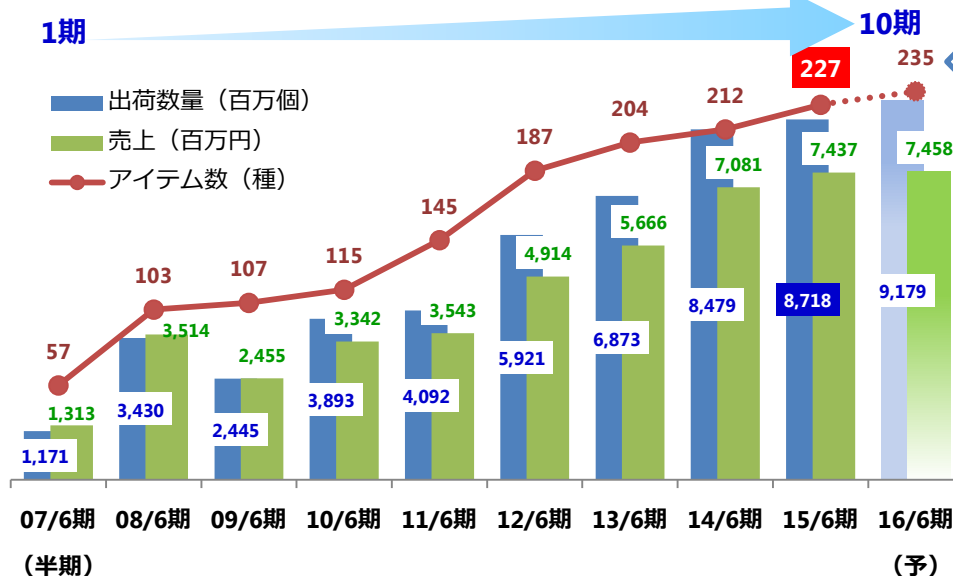
モノ作りNo.1を目指して：自動車電装部品コネクタ

S&Sコンポーネンツ

顧客にとってのNo.1 《新たな10年に向けて》



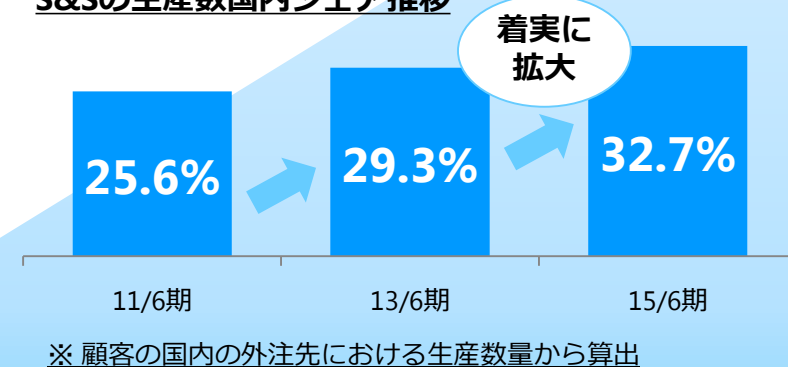
売上及び出荷数量、生産アイテム数の推移



9年間で 出荷数量 → 3.7倍
アイテム数 → 4倍



S&Sの生産数国内シェア推移



効率化への主な取組事例

- トランシーバー導入 (2010年)
- ダコンチェッカー開発・導入 (2010年)
- 完成リールストッカー導入 (2012年)
- 巻取作業の全自動化 (2013年)
- 無線自動通報システム導入 (2014年)

2015年6月期実績

自動化率：9期81%
2条化率：9期83%
2ピッチ化率：9期23%

積極的な設備投資により更なる効率化を推進

- ◆ 2ピッチ金型の増設
- ◆ 既存プレス機を大型プレス機に置換

- プレス停止時間：2割減
- 人の時間当り生産数：10%UP
- 2条化率：86%
- 2ピッチ率：30%

効率化
目標

★ ゼロ継続への挑戦

《安全》《品質》《納期》

障害・事故
ゼロ

不良品
ゼロ

納期遅延
ゼロ

モノ作りNo.1を目指して：機械器具

技術力・提案力を活かし新たな分野にもチャレンジ

自動機器

自動車関連装置を軸に積極提案により売上の拡大を図る

- 自動車軽量化に向けたハーネス関連装置への取組
- 医療関連向け合理化装置の提案
- 半導体製造装置は引き合い堅調
- 開発案件への積極的参画
- 自社ブランド品開発への取組

医療組立月間生産計画

	7月	2月	3月	4月
アイテム1 止血バンド	24万本	22万本	20万本	18万本
アイテム2	7月 7.5万本	10月 8万本		

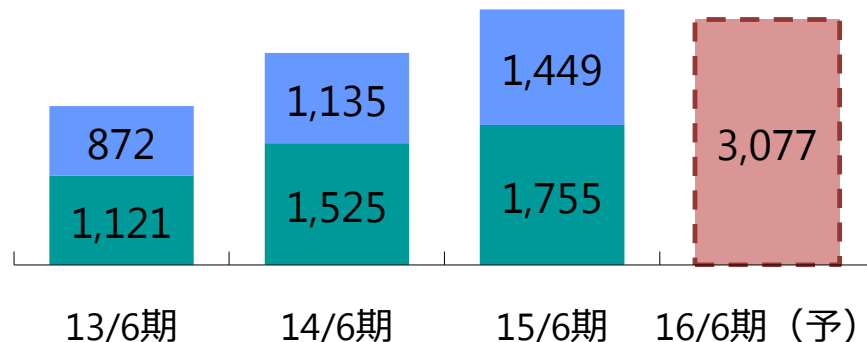
医療組立

- アイテム1：米国内工場移管がスタートする為、現時点では数量は減少する計画
- アイテム2：前期に設備を増強、10月には月間生産8万本の計画

月間生産能力：最大8.2万本

機械器具の売上推移（百万円）

■ 医療組立 ■ 自動機器



《自社ブランド装置開発の取組》

FlipChip (FC)
関連装置

【FCの特徴】
電気特性が良い
放熱性に優れ、小型化、薄型
化とも好相性

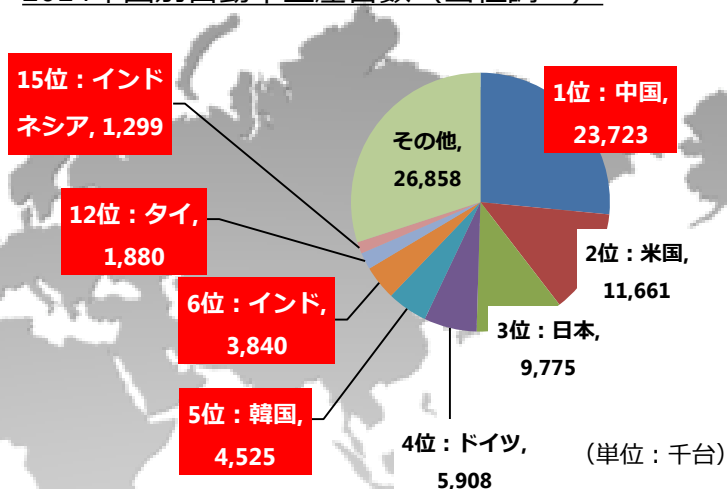
鈴木の
技術・ノウハウ
を結集
2016年
リリース予定

海外事業：自動車向け電装部品に注力

中国・インドネシア 2拠点体制 アジア市場をカバー

中国（鈴木東新電子）

2014年国別自動車生産台数（当社調べ）



インドネシア（SGI）

- 自動車向け電装部品を中心に将来的には金型の設計・製造からプレス、成形までの一貫生産に対応
- 今期は金型をメインに営業を展開
- 2017年黒字化の予定

【自動車向け部品生産開始】

- 2014年から準備していた中国国内向け自動車向け部品が順次スタート
- 3アイテムを生産開始
- ※ 中国景気減速の影響を受け当初計画より若干の遅れ
- 2016年10月単月黒字化の予定

プレス

■ 大型プレスに対応

- 大型プレス機（80 t 又は60 t ワイド）導入予定
- プレス機の改良を実施

めっき

■ 対応品目の拡大

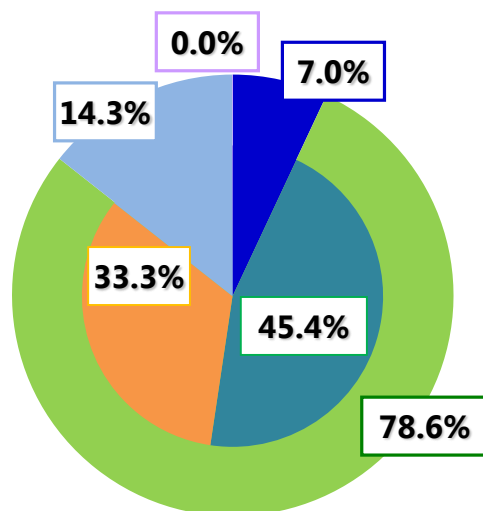
- 錫めっきリフロー設備完成
- 来期本格稼働に向けたテスト実施中



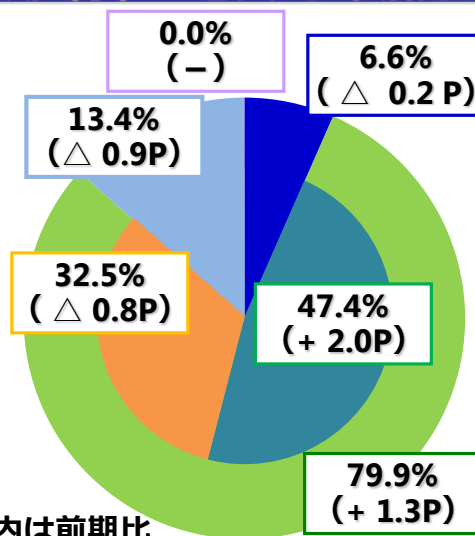
セグメント別売上高

百万円	2015/6期		2016/6期 予想		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,559	7.0	1,512	6.6	△47	△3.0
■ 部品	17,581	78.6	18,335	79.9	754	+4.3
■ 電子部品コネクタ	10,144	45.4	10,876	47.4	732	+7.2
■ 自動車電装部品コネクタ	7,437	33.3	7,458	32.5	21	+0.3
■ 機械器具	3,204	14.3	3,077	13.4	△127	△4.0
■ その他	10	0.0	8	0.0	△2	20.0
合計	22,355	100.0	22,934	100.0	579	+2.6

15/6期：セグメント別売上高構成



16/6期（予）：セグメント別売上高構成



() 内は前期比

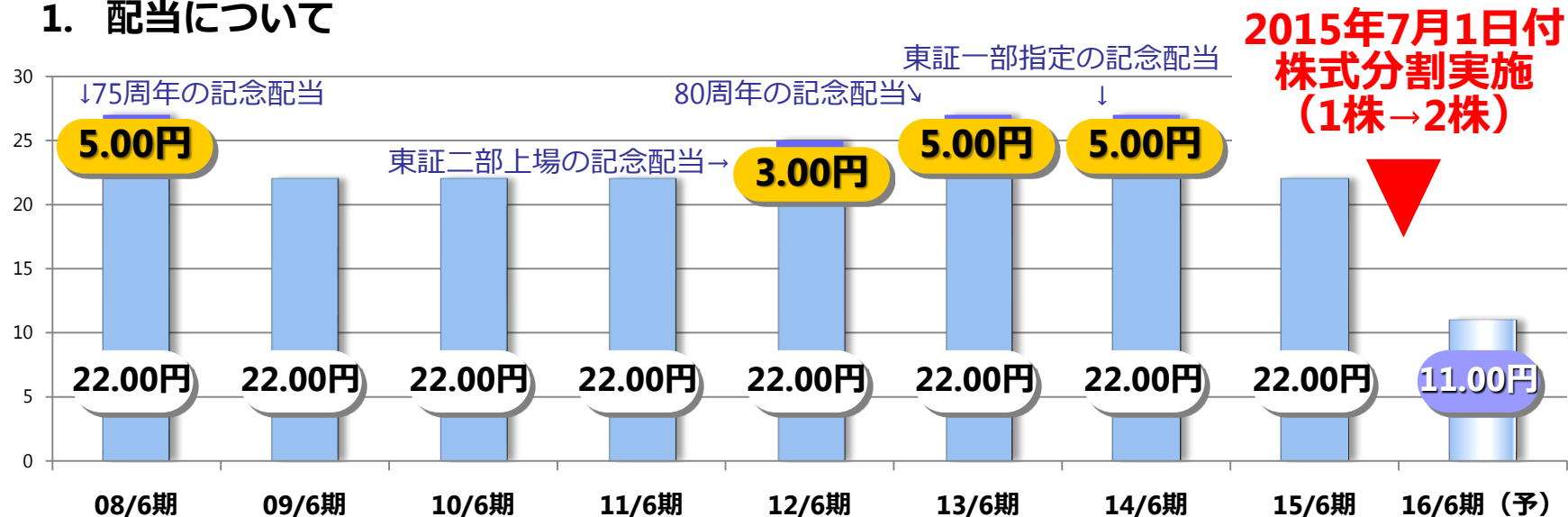
今期のPoint

研究開発費
の増額

前期
為替差益1.8億円

	2015年6月期	2016年6月期見通し	増減率
売上高	22,355百万円	22,934百万円	+2.6%
営業利益 下段：利益率	1,133百万円 5.0%	1,113百万円 4.8%	△1.8%
経常利益 下段：利益率	1,376百万円 6.1%	1,196百万円 5.2%	△ 13.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益 下段：利益率	584百万円 2.6%	521百万円 2.2%	△ 10.9%

1. 配当について



2. 株主優待について

◆ 対象となる株主様

毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株（1単位）以上を保有する株主様を対象と致します。

◆ 株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上1,000株未満	1,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ
1,000株以上	2,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ

Being an “Only-One Company”

本資料は、2015年6月期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2015年6月末時点のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ

ir@suzukinet.co.jp

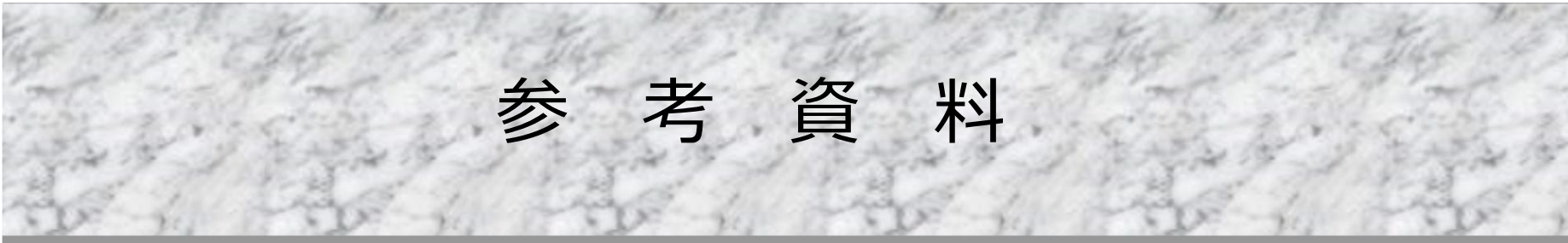


代表取締役社長

鈴木 教義

取締役 専務執行役員

横山 勝登

A horizontal rectangular area with a marbled paper texture, featuring swirling patterns of light gray, beige, and white. The text "參考資料" is centered within this area.

參考資料

経営理念

商 号

設 立

本 社

上 場

代 表 者

事 業 内 容

資 本 金

発行済株式数

関 連 会 社

従 業 員

「不への挑戦」

微細金型技術の徹底的な精度追求 = 不可能への挑戦

株式会社鈴木

英語名：SUZUKI CO., LTD.

1933年6月10日

長野県須坂市大字小河原2150-1

2001年2月16日 JASDAQ

2014年7月31日 東京証券取引所市場第一部

証券コード：6785

代表取締役社長 鈴木 教義

電子部品コネクタ、電子部品搭載装置、半導体関連装置、各種精密プレス金型・
モールド金型の製造・販売

14億3,530万円

12,390,000株（100株単位）

※当社は平成27年5月13日開催の取締役会決議に基づき、平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
これに伴い、前連結会計年度（平成26年6月期）の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

【連結子会社】 国内：S&Sコンポーネンツ株式会社（持株比率：51.0%）、中国広東省：鈴木東
新電子（中山）有限公司（持株比率：80.0%）、中国香港：鈴木東新電子（香港）有限公司（持株
比率：80.0%）、インドネシア共和国：PT. SUGINDO INTERNATIONAL（持株比率：80.0%）

【連結】 678名 【単体】 499名

※ 2015年6月末現在

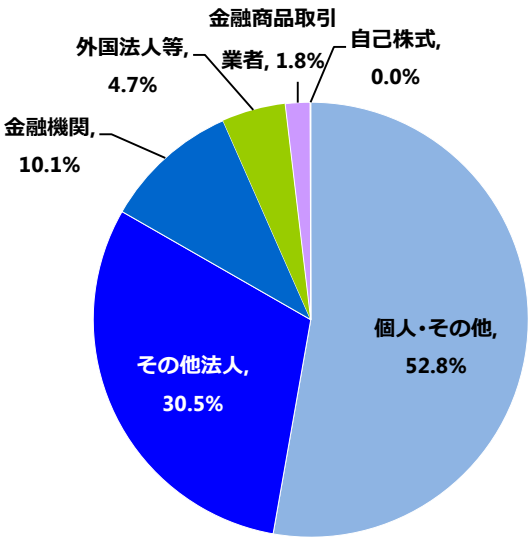
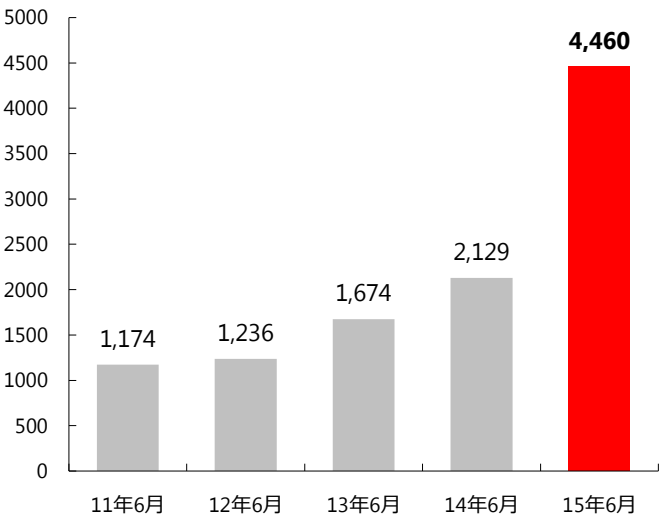
●大株主情報

株主名	持株数（株）	議決権比率（％）
有限会社スズキエンタープライズ	1,554,600	25.1
鈴木 教義	424,720	6.85
鈴木従業員持株会	402,205	6.49
株式会社八十二銀行	155,000	2.5
高野 忠和	147,600	2.38
小島 まゆみ	104,000	1.67
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NO RTHERN TRUST (GUERNSEY) LIMITE D RE GGDP RE: AIF CLIENTS 15. 3 15 PERCENT NON TREATY ACCOUNT	105,500	1.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	99,800	1.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	95,300	1.53
草間 秋男	84,420	1.36

●所有者別株式分布状況

	株主数（名）	株式数（株）	株式数分布比率
個人・その他	4,339	3,268,968	52.77%
その他法人	44	1,890,000	30.51%
金融機関	24	626,700	10.11%
外国法人等	32	292,885	4.73%
金融商品取引業者	20	114,263	1.84%
自己株式	1	2,184	0.04%

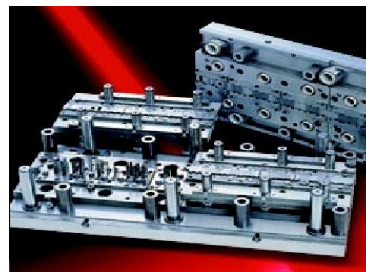
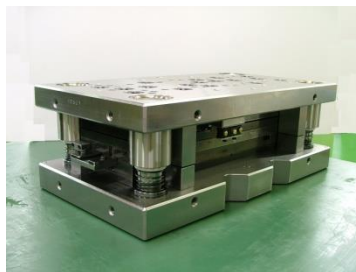
●株主数の推移



金型： ～長年の研鑽による匠の技：当社のコア技術～

業界最高レベルの
精密金型の設計・製造

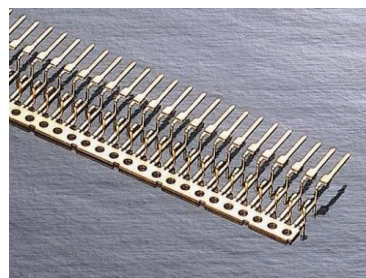
売上構成比：7.0 %



部品： ～金型を用いた精密部品の量産加工～

電子部品や自動車
電装部品の量産加工

売上構成比：78.6 %



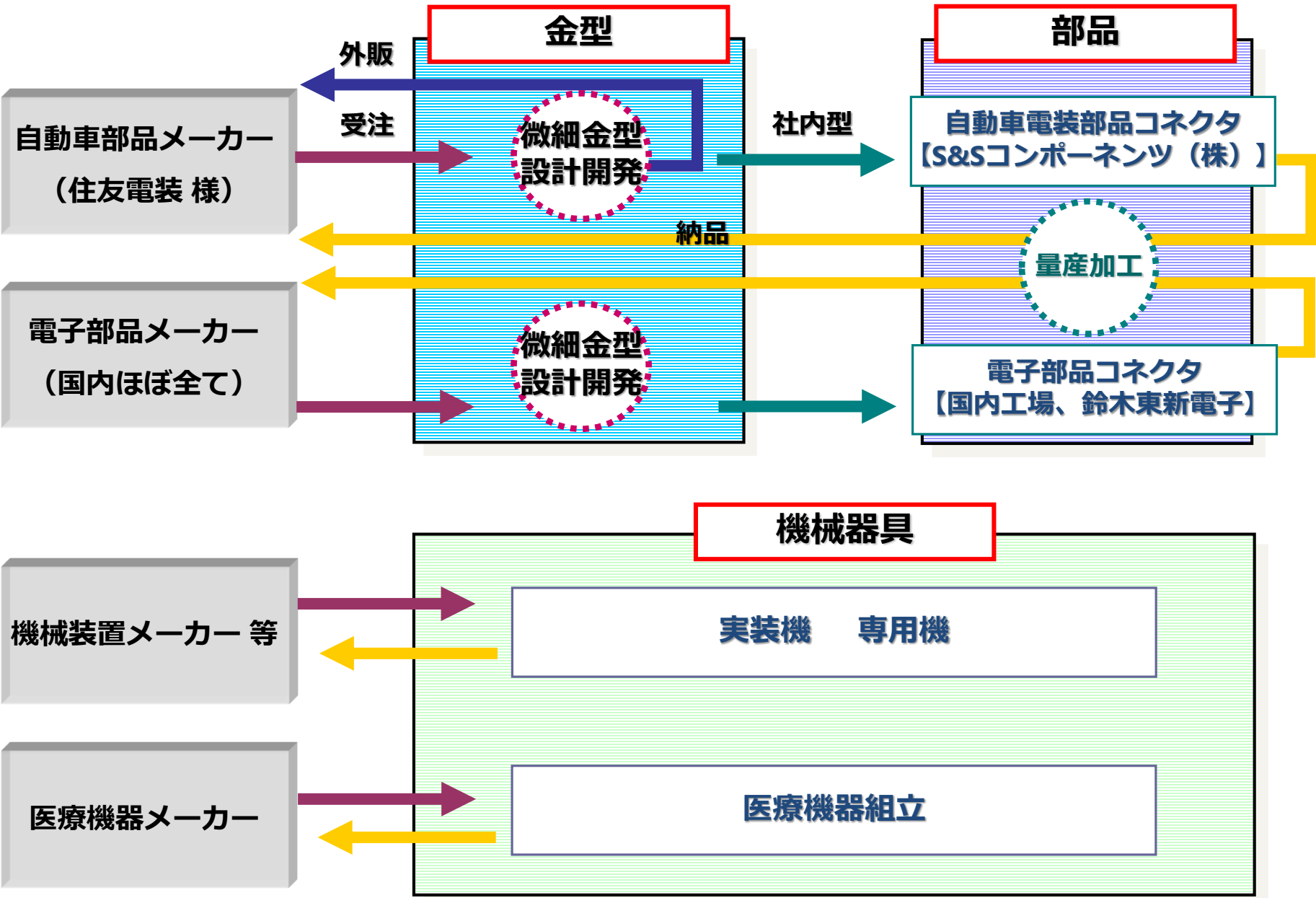
機械器具： ～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～

実装機や省力化機器の
設計開発
医療関連器具の組立

売上構成比：14.3 %

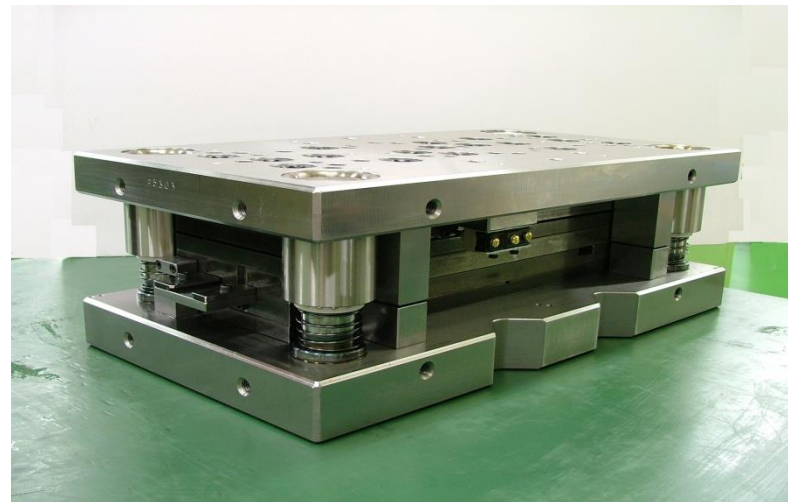
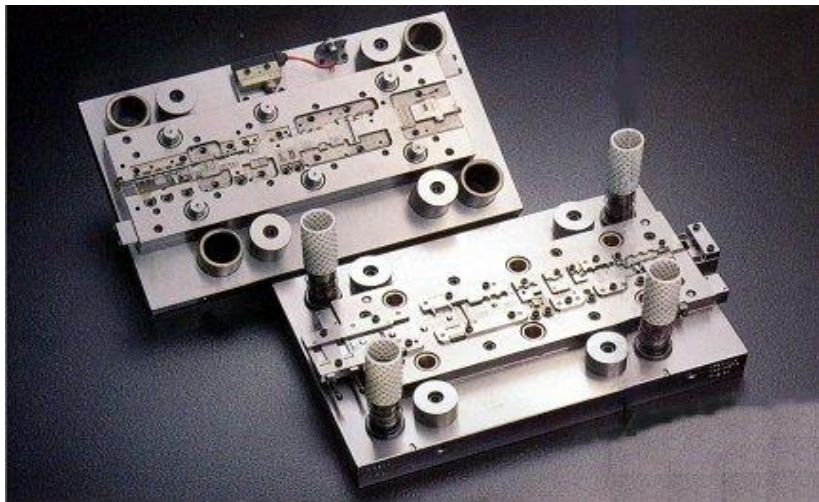


※ 売上構成比：2015/6期の数値



「金型」

展開及び組付け時の金型の外観



「プレス加工」

一般的な加工工程のレイアウト

